

じそんのかね

自尊の鐘



韮崎西中学校 学校たより
2018. 5. 16 NO5
発行責任者 校長 秋澤英俊

「人を敬い、いつくしみ、自らをたつとび高める」、校訓『敬愛自尊』のもとに、毎朝鳴らされる「自尊の鐘」。今日をどのように過ごし自分を高めていくのか、鐘の音を聴きながら「理想をめざし日に進む」(校歌)、生徒たちの成長の姿をお知らせします。



五感で体感した修学旅行！一切り替える力と聴く力

先週の水曜日から金曜日まで、2泊3日の修学旅行に行ってきた3年生、「我ら青組探検隊～京都・奈良を五感で体感せよ～」のスローガンのもと、そこにはたくさんの発見や学びがあり、思い出に残る修学旅行になりました。

出発する前日、8日(火)の結団式で、次のような話をしました。

- ◇この修学旅行を通して、普段見られない、また今まで気づかなかった友達の良いところをたくさん発見してきてほしい。そしてクラスや学年の絆をさらに強くしてほしい。
- ◇修学旅行は授業である。教室を出て、校外で行う学習(授業)である。事前学習の知識をもとに、実際にその目で確かめ、たくさん感動してきてほしい。
- ◇校外学習であり、見知らぬ土地、都会に行く。その時どのような行動をしたら良いか、安全な修学旅行になるために、指示を聞き理解し、素早く動く、みんなの集団としての質が本物かどうか試される。事故もなく安全で最高の思い出となる修学旅行にしてほしい。

9日(水)の朝、あいにくの雨の中でしたが、わくわくしながらみんなで元気よく出発しました。修学旅行の様子については、時折更新したブログ等でご覧いただいた保護者の皆様も大勢いらっしゃったことと思います。3日間で多い日は約6,800件のアクセス数がありました。ありがとうございました。内容については改めてブログでご確認下さい。

3日間を振りかえって、私が感心したことはたくさんありますが、なかでもとりわけ素晴らしいと思ったことがひとつあります。

それは、生徒たちに「切り替える力」があること。先生であれ仲間であれ、前に立って話をする人にさっと集中できる、指示を出されるとすぐに行動に移せる。名古屋駅での乗車隊形づくりや、食事会場での伝達の場面、ガイドさんへの反応、返事、ホテルの人への挨拶等々、それはいろいろなところに見られました。きっとこの修学旅行だからできたのではなく、日頃からの学校生活の積み重ねが現れたのでしょう。

そしてこの「切り替える力」の根底にあるのは、「聴く力」です。この「聴く力」は全ての力の土台になるものだと考え



ています。相手の話を集中して聴くことができると、その内容を正確に理解することができ、しっかりと行動に移せます。時には「どうしてだろう」などと疑問を持ち、相手の考えを想像したり、質問して追究したり、自分と比べて考えたりする力も生まれます。そういう意味で「聴く力」は、学力を含め全ての力の土台なのです。そんな土台がしっかりとしている3年生、頼もしくもありこれからの活躍がさらに楽しみになりました。3日間楽しむところは全員で思い切り楽しみ、集団として行動するところは、みんなで集中して行動する、そんな切り替えのできる最高の修学旅行であったと思います。同時に、3学年の先生達が3年間かけて願い育ててきた3年生としてのあるべき姿が花開いた修学旅行でもありました。この修学旅行での経験を自信にして、これからも最上級生として、下級生にたくさんの手本を示し、葦崎西中学校の伝統として受け継がれていくように、多くの財産を残して行ってほしいと思います。

保護者の皆様にも、朝早くから生徒の送迎をしていただきありがとうございました。きっと家でたくさんお土産話をしてくれたことと思います。様々なことが中学校生活最後になる3年生です。この経験を糧にまた次の目標に向けて、生徒と共に教職員がひとつになって頑張っていきたいと思えます。これからもご理解・ご協力をお願いいたします。

